

### 3 決算規模（第3表・第3図・第4図）

令和4（2022）年度の県内市町等の公営企業全体の決算規模は、1,224億60百万円で、前年度に比べ18億45百万円（1.5%）増加した。この主な要因は、上水道事業の建設改良費の増加等に伴う資本的支出の増によるものである。

全事業のうちで決算規模が最も大きいのは、下水道事業636億40百万円（全体の52.0%）であり、次いで上水道事業485億55百万円（同39.6%）、宅地造成事業41億49百万円（同3.4%）、病院事業32億45百万円（同2.5%）となっている。

なお、公営企業全体の決算規模は、令和4年度市町村等普通会計歳出決算規模9,383億79百万円（一部事務組合の決算額を含む）の13.1%に相当している。

第3表 地方公営企業の決算規模の推移

（単位：百万円、%）

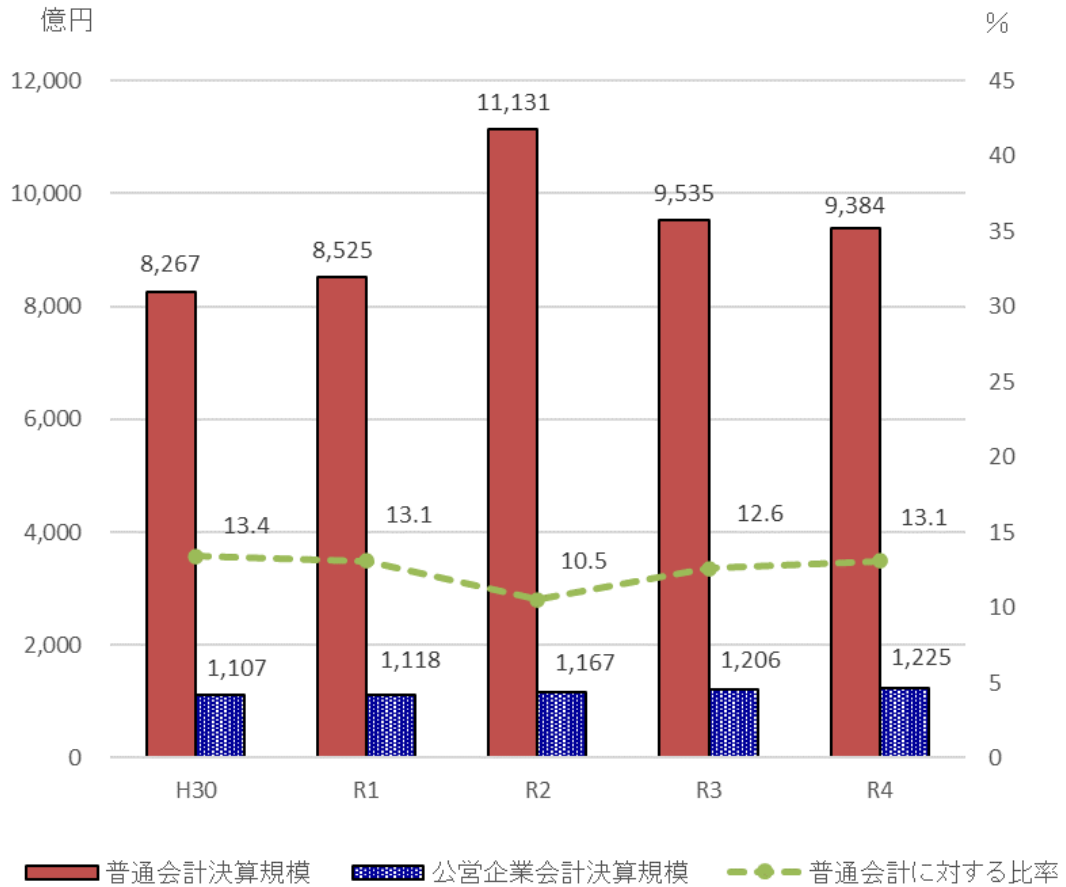
項目	決算規模					対前年度増減率				伸長指数(H30=100)				
	H30	R1	R2	R3	R4	R1	R2	R3	R4	R1	R2	R3	R4	
法適用	上水道	42,032	45,309	47,021	46,806	48,555	7.8	3.8	▲0.5	3.7	108	112	111	116
	工業用水道	187	169	229	189	196	▲9.9	35.5	▲17.3	3.6	90	122	101	105
	病院	3,157	3,136	3,187	3,324	3,245	▲0.7	1.6	4.3	▲2.4	99	101	105	103
	下水道	21,552	31,401	59,354	58,949	60,339	45.7	89.0	▲0.7	2.4	146	275	274	280
	市場	652	698	587	2,573	1,573	7.0	▲15.9	338.4	▲38.9	107	90	395	241
	その他	—	—	17	16	659	—	皆増	▲4.8	4,060.2	—	—	—	—
	小計	67,580	80,713	110,394	111,856	114,568	19.4	36.8	1.3	2.4	119	163	166	170
法非適用	簡易水道	77	—	—	—	—	皆減	—	—	—	—	—	—	—
	下水道	40,032	29,018	3,678	3,798	3,301	▲27.5	▲87.3	3.2	▲13.1	72	9	9	8
	市場	92	78	76	99	53	▲15.6	▲1.8	30.2	▲46.4	84	83	108	58
	と畜場	76	88	—	—	—	15.2	皆減	—	—	115	—	—	—
	観光施設	302	298	230	229	216	▲1.1	▲22.8	▲0.6	▲5.5	99	76	76	72
	宅地造成	2,300	1,412	2,149	4,462	4,149	▲38.6	52.2	107.6	▲7.0	61	93	194	180
	駐車場	142	138	117	116	120	▲2.7	▲15.0	▲1.1	3.8	97	83	82	85
	介護サービス	37	—	—	—	—	皆減	—	—	—	—	—	—	—
	電気	56	58	56	55	53	3.0	▲2.5	▲1.7	▲4.2	103	100	99	95
小計	43,113	31,090	6,307	8,759	7,893	▲27.9	▲79.7	38.9	▲9.9	72	15	20	18	
合計	110,694	111,803	116,701	120,615	122,460	1.0	4.4	3.4	1.5	101	105	109	111	

（注）決算規模の算出方法は次のとおり。

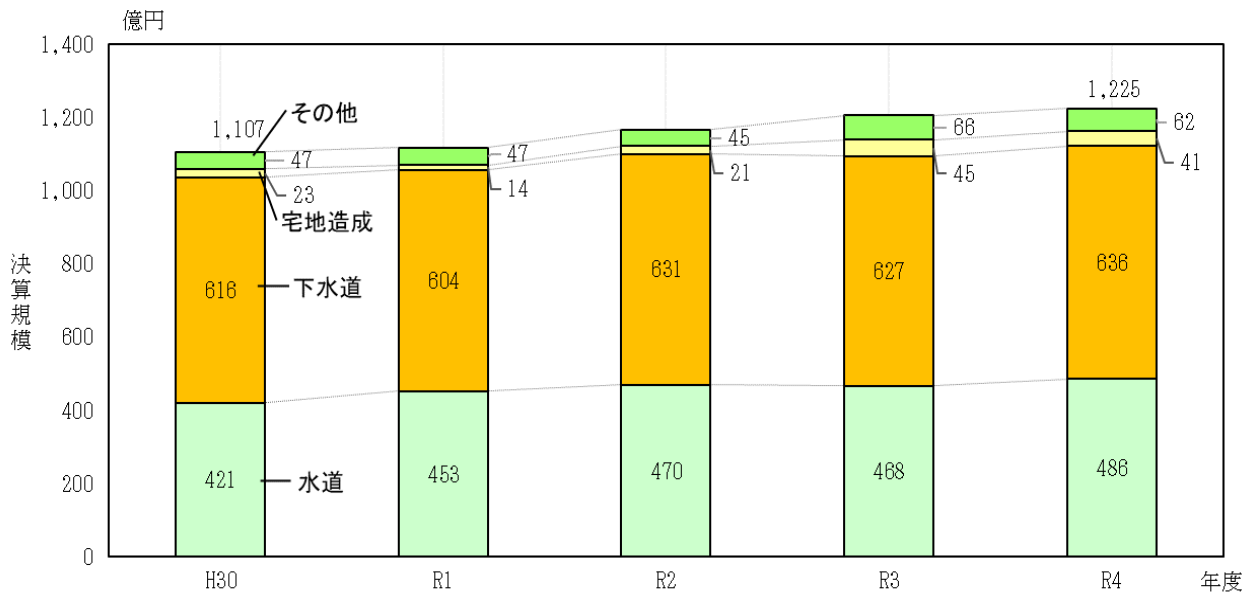
法適用企業：総費用（税込）－減価償却費＋資本的支出（建設改良費や企業債償還金等の支出）

法非適用企業：総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金

第3図 普通会計と公営企業会計の決算規模の比較



第4図 決算規模の推移



(注) 水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。